

SAS(サイエンス アドベンチャー スクール)

SASのSはScience(科学),AはAdventure(冒険),SはSchool(学校)をそれぞれ表しています。

科学の先端を追求する都市にある地の利を生かした特色のある授業作りに取り組んでいき、校区にある大型放射光施設(SPring-8)の研究者の協力を得て、1998年度から始まりました。

本年度も引き続き5回を予定しており、その1回目として、兵庫県立大学で生体物質機能学を専門にしておられる、園部誠司先生をお招きし、授業をしていただきました。授業を受けた6年生は、電子顕微鏡を通して、アメーバやゾウリムシについて観察を行いました。その観察では、ただ微生物の観察を行うだけではなく、実際に生きている姿、えさを食べる姿、電流の向きにより動く向きを変える姿やバリウムを与えて酔ってしまったような行動をとる姿を観察しました。子どもたちは、先生の話をよく聞き指導されたことに対してテキパキ行動する姿が見られました。また、初めて見たり使ったりする電子顕微鏡やそれらを使って見る微生物の姿を観察する体験を行う姿はとても楽しそうでした。

第2回では、兵庫県立大学天文科学センターに勤務されていた、時政典孝先生にお越しいたゞき、3,4,5,6年生を対象とした星の講座を9月に予定しています。

